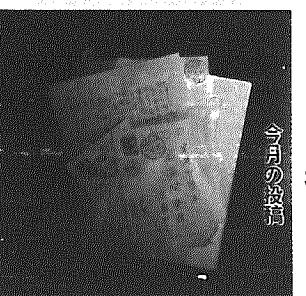


# 街かど

募集しています

- ・短歌
- ・俳句
- ・詩
- ・隨筆
- ・イラスト
- ・写真
- ・まんが
- ・その他
- 町への意見や要望も受け付けます
- 文書は苦手とうかたは連絡を取材に行きます
- 匿名もよいです
- 投稿・連絡先は
- 黒崎町大野2843-1
- 役場企画開発課
- 広報「街かど」係
- 377-3101



善齋の窓

高橋高一さん(木場2433)が1月30日、福祉に役立てほしいと30万円寄付されました。

佐藤秀男さん(柳作)が二月20日、善久、柳作、立伝、寺地に防犯灯を32灯(町に27灯、善久の自治会に5灯)寄付されました。



左が佐藤さん

白鳥

エプロン通信②

大谷定子



今年に入ってから久しぶりに、白鳥の鳴き声を聞いたのが2月半ばの午後5時半ごろでした。立春も過ぎ、外にいたならその姿も見えたでしょうが、残念なことに声は聞こえど姿は見えませんでした。

昨年の夕方五時前後(11月ごろ)には何度か西の方向から東の方向へ飛んで帰る姿を見かけました。まず、鳴き声で気づきます。白鳥たちが小さな点になるまで見送っていましたが、実にみごとなこの字型の配列なんです。決まって同じようなく字型を書きます。

白鳥にはどのような意志伝達の方法がある、どのようにきちんと列を組むのでしょうか。ボスが号令を出すのかしら? とても不思議です。子供の白鳥だっておおぜいいるでしょうに。

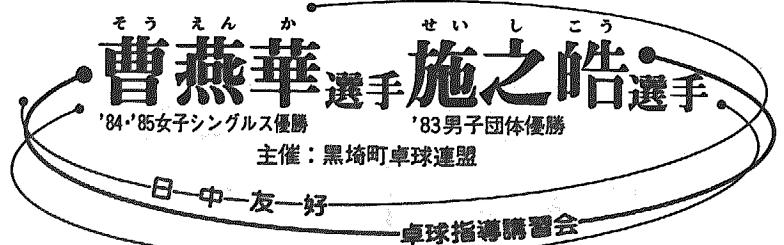
白鳥たちのみごとな隊列を眺めていて苦笑することもあります。必ずいちばん後から必死で羽をばたつかせながら後を追いかけているのがいるのです。(なぜか我が子を思い出しました) 「置いていかれたら大変だ」といわんばかりに一生懸命追いつこうとしているのです。もし子供の白鳥だとしたら、親鳥は心配しないのでしょうか。だれ一人(?)見むきもしないで、我が道を行くという感じで列をくずさず進んで行きます。

もしこれが人間の場合だったら、親は子供を心配しますよね。人間には、厳しい自然を相手にしている動物は強いなあと思いました。そうでなければ故郷のシベリアまで帰れません。なぜか自分の子育てを思い出しため息が出ました。子供は大きくなるにつれ、なかなか親のことを聞かなくなりますし、白鳥の親にたくましい子育ての方法を聞きたくなくなりました。

さて、白鳥たちはどこのねぐらへ帰って行ったのでしょうか。方向からすれば、鳥屋野潟か瓢湖でしょうか。瓢湖だとするとエサはもらっているでしょうに、まだ足りないのかしら。それとも散歩を兼ねて近郷の水田や佐渡あたりへ足を伸ばしているのでしょうか。

「白鳥は美しい」と外見しか見えない私ですが、現実はもっと厳しいものがあるのでしょうね。私が見かけたのは、夕方の西の空から東の空へ帰る白鳥ですが、天野に住んでいる知人の話では、早朝6時半から7時ごろにかけて東の方向から西の方向、弥彦山方面に向かって、朝日に輝きながら飛んでいく白鳥の姿はそれは美しいそうです。私もいつか見たいと思っています。白鳥の滞在あと少し。例年になく雪の少ない暖かな新潟の冬をどう感じどう過ごしたのでしょうか。やはり、白鳥には雪が似合います。

卓球世界チャンピオン来町 3月29日(日)午前9時~午後4時 黒崎町総合体育館 入場無料



## 第5回小学生卓球大会

2月8日・総合体育馆

- ▶男子 1位板井小A、2位立仏小A 3位山田小A、立仏小B
- ▶女子 1位板井小A、2位立仏小A 3位立仏小B、板井小B
- ▶男子個人 1位長島史明(板井)、2位佐々木透(板井)、3位本間昌治郎(板井) ▶女子個人 1位高橋舞子(板井)、2位萩野三土理(板井)、3位川北友紀(立仏)

## 4週6休制を試行

3月第2週から

国及び県で既に施行している4週6休制(4週間に日曜を含め6日間休むこと)の試行を本町役場でも検討してきましたが、きたる3月の第2週から国県に準じて実施することになりました。なお、土曜日は従来どおり業務をしています。

▶問い合わせ…役場総務課

## ガスの供給についての公聴会

述べたいかた、また傍聴したいかたはお申し込みください。  
▶日時 3月20日(金)午後1時30分~  
▶場所 東京通商産業局  
▶問い合わせ 黒崎町ガス水道局 377-2516

二月十九日、私のもとへ切手の貼つていないしかも差出人不明の文書が一通届きました。私が不在中で家族の者が郵便局に九十円也を支払つて受取つておきました。帰宅後、私が開封してみると、手の貼つた文書で明るい町政を望むようを正面でした。もちろん、私も明るい町政を望むことは決して人後に落ちませんが、匿名がどうも腑に落ちません。九十円が借しにありました。差出人の名前さえはつきりしていれば、私は金九十

## 新人類に思う

時代の懸隔を表す言葉に「年ひと昔」というのがあるが、このごろはあまり使われなくなつた。高度情報化社会への移行が著しくなってきた現代では、二~三年周期で様変わりするほど、世の中が目まぐろしく推移しているからであろうか。

商売のあり方も昔のような受身の商法では、若者に敬遠されてしまう。そこで、若者の二~三ヶ月を徹底的に調査研究し、最も受け入れられ易い方法で、商品を提供することが必要となつてくる。

一方、供給者の創造的なキャラクターを前面に打ち出

した商品を提供して、ユーローである若者の支持を得ることが大切である。これが、市場志向であり、創造志向であるわけで、原宿、六本木など

をみられた商法が、高速交通体系の整備に伴つて、首都圏

から射程距離に入った新潟にも波及効果となつて表れています。

ところで、新人類という新語が生まれたように、若い世代は、彼等にしか通用しない符号の言葉を駆使して、親た

ちに戸惑いを与えていたり。例えば、受験シーズンに若者から聞いた符号にTDK

がある。英会話などのカセツ

リヤカーに積み乗し野菜は安けれど頭を下げ買ってもらひぬ 笠原セツと雪降るを待つ 大谷モト

後髪引かる如き心地にて君はたたず足腰に痛みおぼえて不安なり我も老い

らし雪の越後路 広瀬八重子

我が尊弟喜寿の祝とて法師温泉に連

し来し妹 うち集う孫らと諏訪社に詣で来て生み

もり上がる大波の遠雪白く被ける佐渡

のたまゆらに見ゆ 橋 芳園 盛山に

月近き嫁の無事祈る 泉井ヨコ子

仰ね見る頭上の壁に貼り置きし古き格言を諒める

菊地八重子 小林八重子

黒崎短歌会 (静水選)

マスクの目 笑みて金糸や 曲り角 齢藤モト

親父抽く だるま絵がかり 床の春 小泉翠

冬の海 むかいの能登は 夕やける

言吾を諒める

黒崎俳句の会

寒の入り 薬湯買ひし 日と記す

寒の入り 薬湯買ひし 笠原セツ

白川代香

白川代香

野施行や 祖母の語りの おもしろく

年経れど線香絶えぬ墓所忠誠は眠る飯

月近き嫁の無事祈る 泉井ヨコ子

月近き嫁の無事祈る 泉井ヨコ子

花に引きしほる月 初射会

渡辺ウタ

初春の中口土境静もある竹の林に雪

月近き嫁の無事祈る 泉井ヨコ子

盛山に

宮田ミイ

月近き嫁の無事祈る 泉井ヨコ子

月近き嫁の無事祈る 泉井ヨコ子